課題番号11

新たな担い手による経営の確立と地域活性化

～　新たな仲間と地域を守ろう　～

対象：栗山町日出地区（14戸1法人）

1　活動の背景

栗山町日出地区　・平均経営面積：4.9ha/戸　・経営主平均年齢：60歳

新規参入者(6戸)

施設野菜の
栽培技術向上
↓
野菜の安定生産
↓
地域への定着

新規法人(2戸1法人)

農地の借り受け(規模拡大)
↓
労働力不足・条件不利地多い
↓
水稲省力化技術の安定生産
条件不利地での小麦安定生産
異業種から転職した構成員の技術習得

農地所有非営農者(4戸)

有害鳥獣

シカ・アライグマ・
カラス・ウサギ被害大
＋
高齢化・労働力不足で
集落柵管理体制不十分

2　活動の経過

新規参入者の定着　～栽培管理技術の確立・安定化～

個別の課題設定

面談による個別課題設定

共通の課題設定

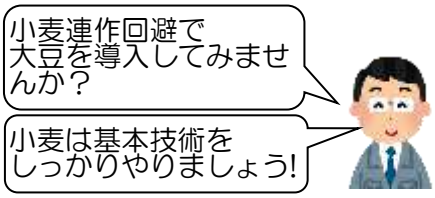
透排水性改善

肥培管理・土づくり

病害虫予察・防除

新規法人の営農体制の構築　～土地利用型作物の安定化～

畑作部門



水稲部門

構成員育成部門

有害鳥獣対策体制の確立　～効率的な集落柵管理体制の構築～

「個人」から「地域全体」の対策体制づくり

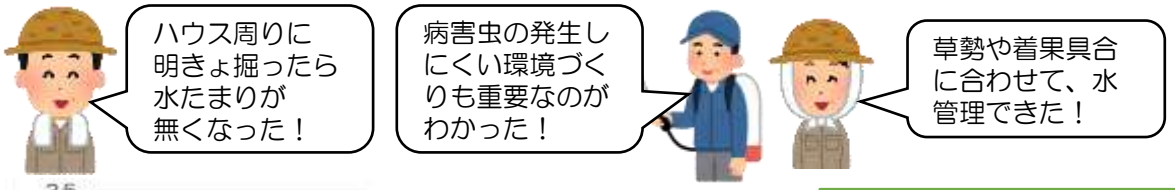
ワークショップ開催

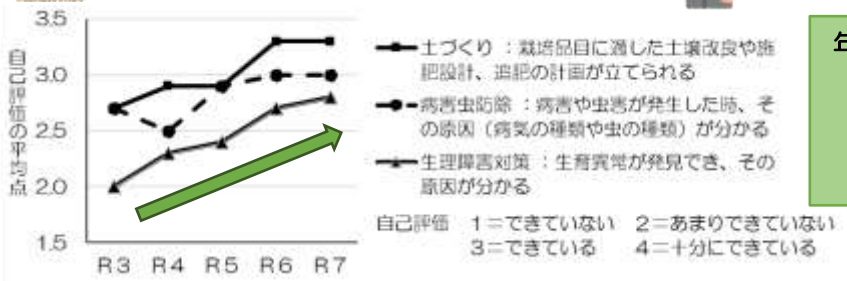
集落柵点検実施

将来の集落柵管理体制について協議

３　成果の具体的内容

新規参入者の定着　（個別改善目標実践戸数　現況６戸→目標６戸→実績６戸）





年度末の評価アンケート
↓
技術は着実に向上
↓
地域に定着！

新規法人の営農体制の構築　（実践項目数　現況２→目標２→実績３）

有害鳥獣対策体制の確立（日出地区における集落柵管理体制のロードマップ作成
現況０→目標１→実績４）

日出地区全員で取り組む集落柵管理体制の構築

第一・第二・第三地区の枠を撤廃し、全員で集落柵点検・補修する体制へ！
第三地区の電気牧柵は、10年かけて金網へ建て替えることに！

10年計画・年間計画についてロードマップ作成

４　今後の課題と対応

重点活動は終了するが、今後も一般活動として支援を継続する。